

# 簡単な操作で端末間の高速転送を実現 日本発の近接無線技術「TransferJet」対応 USB アダプタ

## <商品・サービスの概要>

機器同士を直接かざすだけの簡単な操作で560Mbpsの高速転送が可能な日本発の近接無線技術「TransferJet」(トランスファージェット)。

この技術を搭載した通信機器が東芝の「TransferJet対応USBアダプタ」(MicroUSBタイプのアダプタもあり)である。必要なハードウェア機能を搭載しているため、スマートフォン等のデバイスに挿して、必要なソフトウェアをインストールするだけで、TransferJetを用いることができる。既存のスマートフォンやPC等に後付けすることで様々なデバイスでTransferJetが利用可能になった。

複雑な接続設定やアクセスポイントが不要であり、ホストとターゲットの関係がないため、スマートフォンとPC、スマートフォン同士直接のデータ通信も容易だ。これまでの無線技術との対比は図1の通り。

今後、コンテンツや電子書籍の販売、デジタルサイネージ、デジタル教科書配布、ペーパーレス会議などへの応用が想定されている。

また、TransferJet対応KIOSK端末の設置により、音楽や映画のダウンロード(&購入)などの新サービスの開発も期待される。

## <技術的特徴等>

TransferJetは日本発の新技術である。

2008年に15社にてコンソーシアムを発足、2012年に国際標準化を完了(ISO/IEC 17568)した。

[コンソーシアムのホームページ]

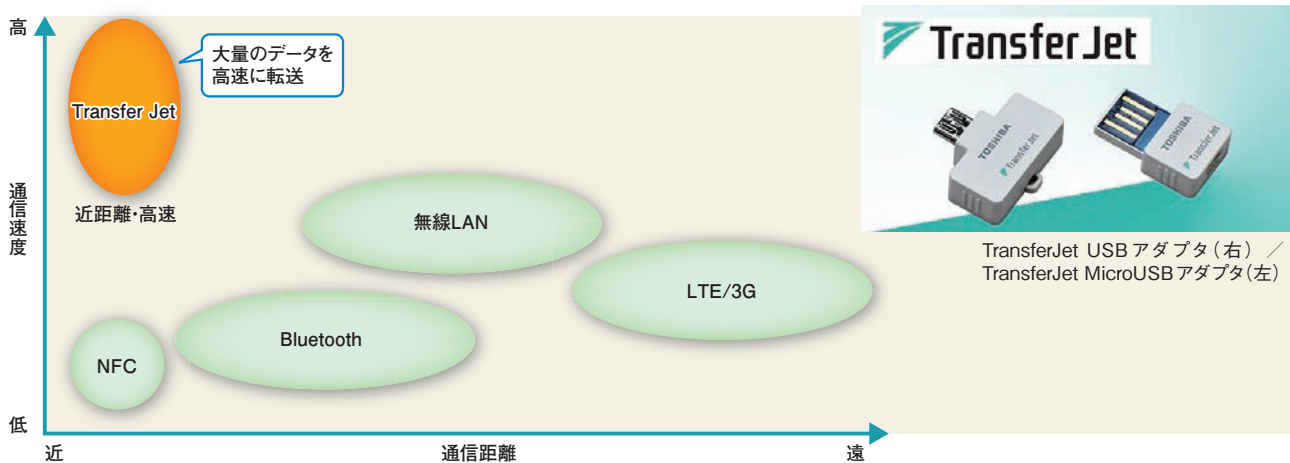
<http://www.transferjet.org/ja/>

- ①無線通信距離=数cm
- ②接続セットアップ時間=0.1秒
- ③1対1通信

を特徴とし、機器同士をタッチすることでデータを交換する(Touch and Get)。仕様の詳細は図2の通りである。

2015年までに2Gbps、2017年までに10Gbpsの高速化をめざし規格を策定している。

図1 TransferJetの位置づけ(通信距離と通信速度による他の無線技術との比較)



TransferJet USBアダプタ(右) / TransferJet MicroUSBアダプタ(左)

図2 TransferJetの特徴と基本仕様

誰もが安心して使える近接無線転送技術

簡単な操作

安全な接続

快適な転送

中心周波数	4.48GHz
帯域幅	560MHz(4.2 to 4.76 GHz)
通信電力	-70dBm/MHz以下(平均)
通信速度	560Mbps(最大)、375Mbps(実効スループット)
変調方式	DSSS with $\pi/2$ -shift BPSK
アンテナ要素	誘導電場カプラ
接続距離	数cm
トポロジー	1:1, Point-to-Point